

「依 栖」

家庭用インタラクティブ照明器具セット

300mm*250mm*400mm 樹脂

本デザインでは、小鳥を感情の媒介とする。ユーザーが帰宅する際、まずは家族メンバーを象徴する小鳥から放出された温かい明かりを感じる。家族の暖かさを感じることができる。なお、家庭生活のいくつかの場所-----居間、書斎、寝室の中に、場所のキーポイントである照明器具に象徴的なインタラクティブデザインを与えることで、そこにいるカップルがより暖かい家庭生活を感じることができる。

INTERACTIVE

+

IOT

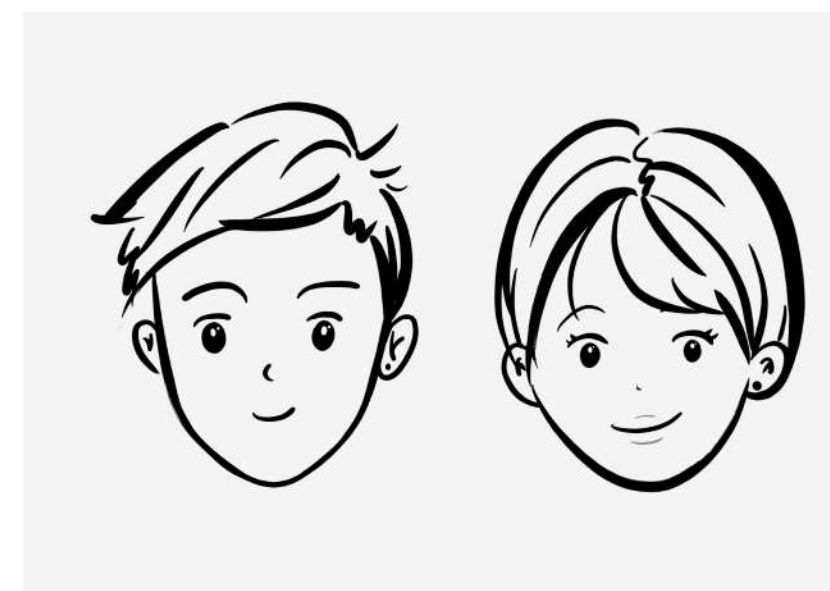
USER PERSONA



年齢：20
職業：大学生
特徴：地方で大学に通うと、
ホームシックになりやすい

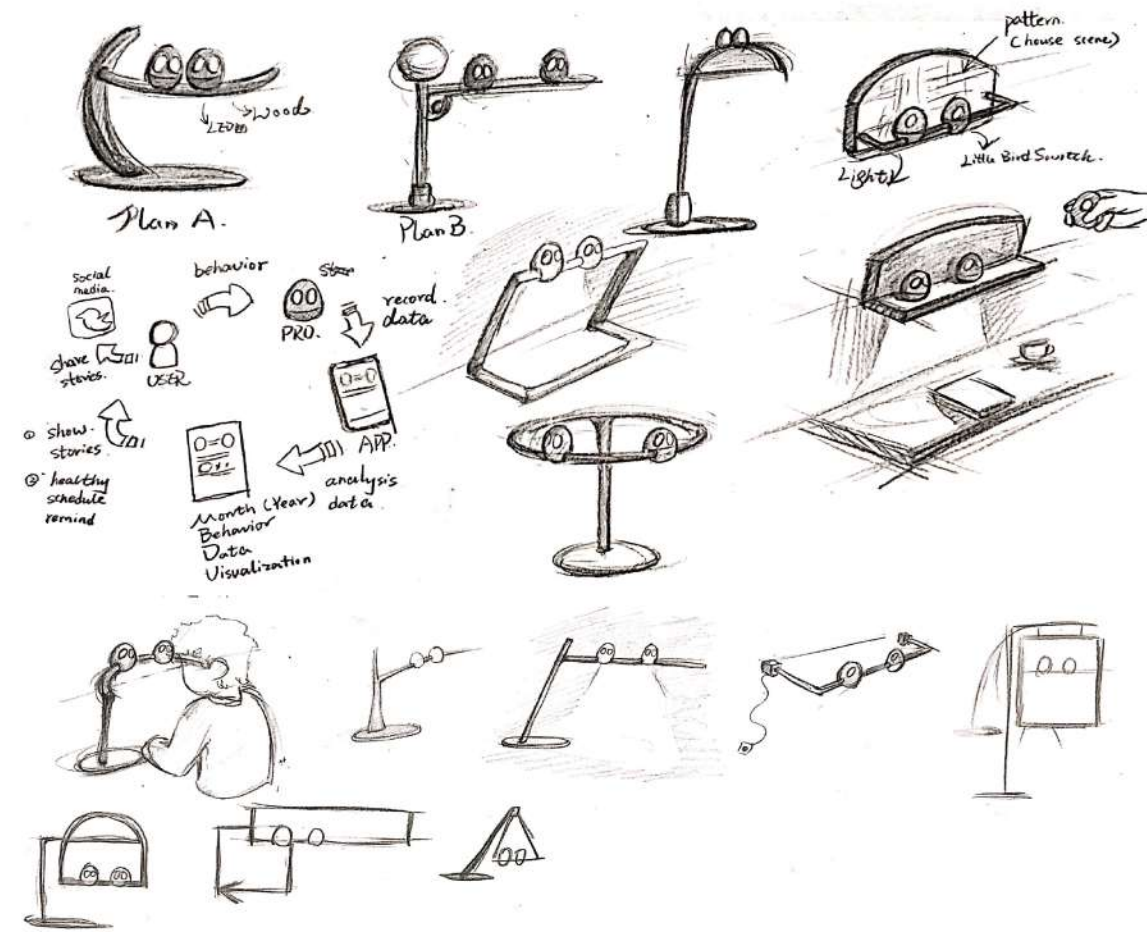


年齢：28
職業：プログラマー
特徴：長年パソコンの前に
座っている



年齢：28
職業：夫婦
特徴：二人の退勤時間は違い、夜に一緒
にいる時間は少ない

PROCESSING



STEP 1 スケッチ

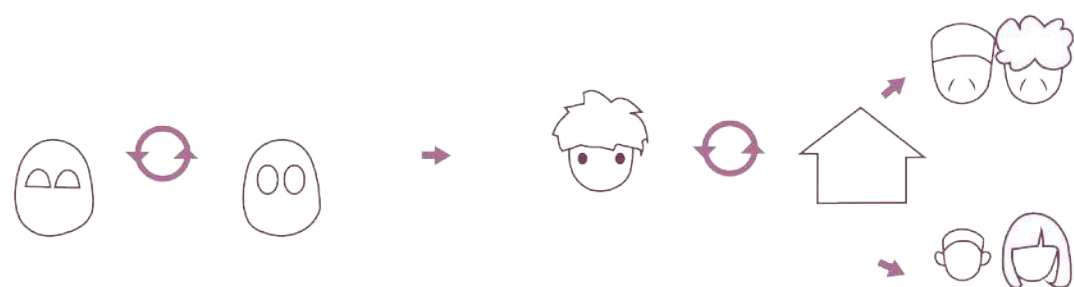
小鳥灯の造形検討



STEP 2 モデルを作る

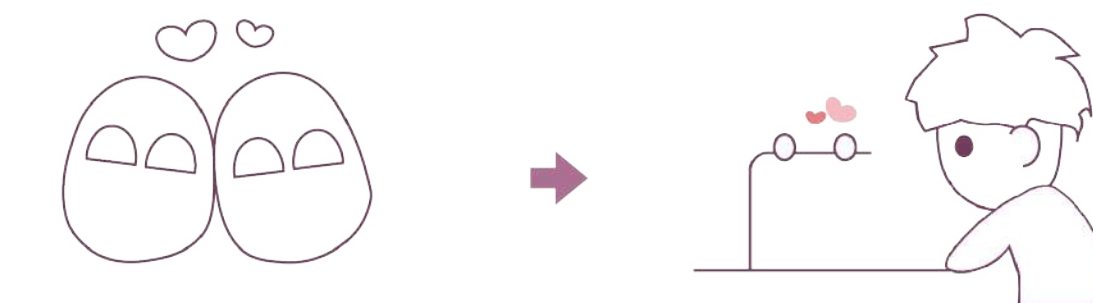
モデルを作成して回路を接続する

PRODUCTS USAGE SCENARIO



シーン1:

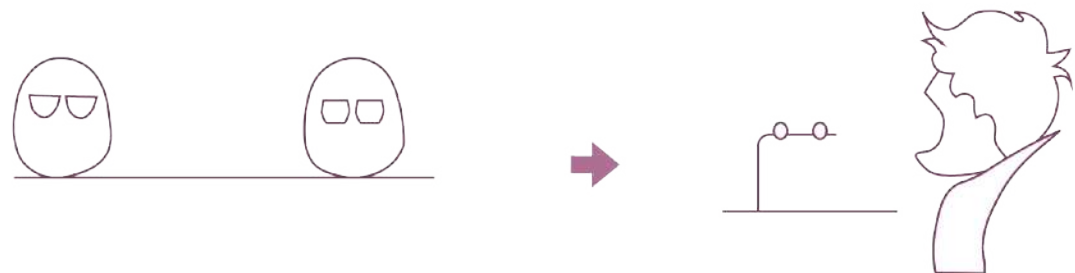
2羽の鳥の状態はユーザーと家族の状態を映し出し、多くの家族に付き添うことを意味している。
2羽の小鳥とユーザーと家庭とを結び、ユーザーが仕事と生活の関係を調整するのを助ける。



シーン3:

2羽の鳥の状態にユーザーは興味を持たせ、2羽の鳥の愛情のストーリーをのぞき見る楽しみを与える。

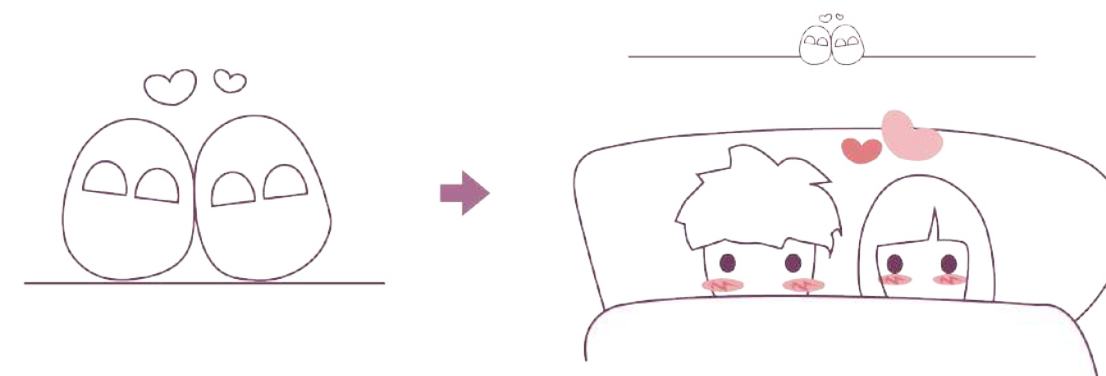
ユーザーを誘導していつのまにか2羽のストーリーを考えるように促し、ユーザーがそれを発見することによって、製品に対する気持ち、依存感を育成する。



シーン2:

2羽の鳥の状態を表現することによって、ユーザーに休息を促す。

学習、作業時間を可視化し、小鳥間の感情状況をユーザーに表現し、ユーザーの規則遵守の主動性を高め、労働と休息の結合の良い働き方を育成する。



シーン4:

寝る時は携帯電話を操作し、鳥を少しずつくっつけて明かりを消す。2羽の鳥の状態は夫婦の状態を表している。

小鳥の行動で夫婦の睡眠環境を作りつつ、双方の睡眠を促す役割を果たしている。

